日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

# 裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２６期・１巻　　２０２０年　４月号　　ＮＯ．224

仲間と仲間を結ぶ機関誌

# れいほう

Susono Reihou Alpine Club

## 雪山の記憶

山行ＮＯ．１８５９
２０２０．０３．２１
八ッ・硫黄岳

# ビーコンとヒトココ

早川康浩

ビーコンの捜索範囲は 40m 程度、先日の焼岳の雪崩では大魔人は標高差 400m、距離にして 700m 流された。もし完全に埋没してしまっていたら捜索はかなり難を極めた可能性がある。埋没してから掘り出しまで 15 分以内でなければ窒息の可能性がある。仮にエアーポケットを作ったり空気穴だけでも取れれば 30 分から 1 時間は生存できる可能性がある。その間に仲間が掘り出せば救える。

以前からヒトココは携帯していたが実際どれほどの機能か山で試したことはなかった。大日岳では焼岳での反省から積極的に使い勝手や感知能力を試してみた。ヒトココはビーコンに比べてとても軽くて重さは数十グラム、電源は USB 充電、そして小さくて薄くて携帯性は抜群、ビーコンと別に持ち歩いてもほとんど問題ないレベル。

山で感度を試してみた。700m までは全然問題なく、最大 1km 程は感知すると思われた。これは山で使えると確信した。仲間は 10 人以上登録できる。もし仲間が全員持ってくれればさらにメンバー間の安全性は一層高まると思った。ホワイトアウト時に離れ離れになった時にも使える。

道具は実際使ってみなければわからない、地獄ゴーグルもウィペットも購入して実際山で使って初めてその価値が分かった。今や無くてはならないアイテムである。ヒトココも仲間の命を守る道具と思えば持って損はない。山スキーは危険なスポーツだ、安全度を上げるためにケチってはいけない。

**ヒトココ　林道を先に歩いていった大魔人、**

**620m 先は全く問題なく感知できた。**

さてここでヒトココの出番、ヒトココはビーコンに比べて近接してからの捜索はムズイが先日の大日のように 500m 以上離れていても反応した。10m 単位で近接していくのがわかるのでビーコンの捜索可能距離まではヒトココ、最後はビーコンでピンポイント捜索するのが一番合理的であった。2 つあればかなり捜索は楽で安心できると納得した。

２０２０年度　３月度例会資料　　２０２０、０３．０８　　１６：００生協2F

１．報告・当面の予定

３月　　０１日(日)・・・県連総会＝５４期総会　　長田生涯学習センター　10:00~16:00
理事＝後藤、加藤　代議員＝井上
経費＝有料３０００－、燃料＝０（山楽歩拠出)、昼食代＝２０００－（後藤、井上）
０３日（火）・・・・まったりハイキング＝焼津・満観峰　１０名
０３日（火）・・・・富士山・二つ塚　１名
１１日（水）・・・・伊豆巡礼
第一　０７日（土）・・・・ハイキング＝茅ヶ岳　５名
第二　１５日（日）・・・・ハイキング
第三　２１日（土）・・・・硫黄岳＝５名
２３日（月）・・・・東ブロック会議「ちょ蔵」１８：００
２５日（水）・・・・伊豆ウオーキング
第四　２８日（土）・・・・お花見（角池公園）

４月　第一　３１日（火）
～４日（土）・・・・小豆島おへんろ（後藤、加藤、鈴木夫妻、合谷、星）
０７日（火）・・・・まったりハイキング＝長野・虫倉山（１３７８ｍ）
第二　１１日（土）・・・・ハイキング
第三　１８日（土）・・・・アルパイン
第四　２５日（土）・・・・ハイキング

５月　　２６日（月）～
第一　０２日（日）・・・春山合宿＝東北の山（山岳スキーと登山)・・・今年は暦が
うまくなく、日程は未定
第二　０９日（土）・・・・
第三　１６日（土）・・・・
第四　２３日（土）・・・・
第五　３０日（土）・・・・

２．その他

・３月１０日、県連連盟費振り込み済（会計＝合谷）

３．寄贈会報とピックアップ

「あしたか」沼津勤労者山岳会　３月号　A４　P６　紙製本
「くろゆり」三島勤労者山岳会　３月号　山行記録集　電子版
「のいちご」伊豆ハイキングクラブ　３月号　A４　P8　紙製本
「こけもも」山登歩勤労者山の会　NO.64　A4　P50　季刊報
「あさぎり」あさぎり山の会　NO.321　３月号　A4　P23　紙製本
「ハイキングだより」新潟・みちぐさ HC　NO.314　３月号　P12　電子版
「山梨山の会会報」山梨山の会　NO.265　４月号　P18　電子版

| 裾野麗峰山の会・山行報告書 | 文・写真　　ＧＴ |
|---|---|
| 山行番 | ＮＯ．１８５５ |
| 日　時 | ２０２０/０２/１６～１７ |
| 山　域 | 松本・アルプス公園（７４３ｍ）・上高地（約１５００ｍ） |
| 参加者 | ＧＴ，ＫＨ，ＳＳ，ＳＡ，ＨＴ，ＫＹ，ＧＭ，ＴＹ＝計８名 |

１日目　０２月１６日（日）雨
長泉６；００－アルプス公園１０：１６－散策—展望台１０：５８－休憩館（昼食）１１：１５～５０－カモシカ・スポーツ－中の湯旅館１６：００（泊）

２０２０、恒例のジジ・ババの「山楽会」（楽山・楽湯・楽酒）。今年は、松本の芥子望主山（けしぼうずやま・８９２ｍ）と上高地散策。芥子望主山とは、変わった山名。本来、芥子望主山は、芥子坊主山だが、２万５千図は、望主山の表記。
芥子坊主の意味は、１．ケシの果実。阿片（あへん）はケシの未熟な果実から採取される。同じケシ属でも、オニゲシ、ひなげしなどには、あへん成分はほとんど含まれていない。２．江戸時代の少年少女の髪型。3～4 歳の子供が結う（詳細は下に）。すずしろ、お芥子とも。

梓川 SIC で降りて、松本トンネルを潜り山に向かう。ところが、芥子望主山は、登山口がハッキリせず、道路が山頂付近まで上がり、ガッカリしてしまった。代わりに、芥子望主山から続く、アルプス公園に向かった。アルプス公園最高峰は、標高７４３ｍ。晴天なら、松本盆地の向こうに雄大なアルプスが望まれる。
公園駐車場から、長い階段を上り公園内を散策。公園は広大な敷地で、人工の川や池、滑り台、休憩舎、ポニー、ヤギ、桜並木とか、家族・子供向けの公園だった。桜が咲くころは、素晴らしいところになるだろう。

一回りして、立派な休憩建屋で昼食。中には託児所もあった。しかも、ほとんど来訪者が訪れないこの冬に係員が詰めていた。松本市は財政が豊かなのか。
午後、アルプス公園を後にする。梓川を渡り、下道で「カモシカ・スポーツ」に向かう。店は最近、経営改革で店長の Y さんが代わった。Y さんは現在、何故か居酒屋をやっている。店名は「酒と雪」。（昔、

「岩と雪」の雑誌があったが。笑）酒と山が好きな人の名前だ。場所は、松本城南の「華のうら町・夢屋台・はしご横丁」。いかにも、のん兵衛が集まりそうな所。一度は訪れてみたいものだ。
店で Ｓ さんがローバ（老婆・老爺？？！！）の登山靴を買った。前回、といっても十数年前、（２００６年秋）だが、やはりここで革登山靴を購入した。その靴が、大分傷んだので、今回新調したわけ。正価格は、３１０００－。型がやや古いせいか、ちょっと安くなっていた。
買い物終了後、上高地・中の湯に向かった。外は、この厳冬期で雨だった。過去、冬山で何回か雨に降られたことはある。しかし、それは本当に稀で、今年のように継続的・何回も・年中は珍しい。

中の湯旅館

林道の雪は、確かに少なかった。乗鞍岳入口手前右の滝は例年、凍っているが今回はザーザー流れていた。中の湯は久しぶりだった。裏山の雪は、マアマアの感じだった。夕食は１８時から。それまでゆっくり過ごした。ここの温泉は、やっぱり素晴らしい。雨で露天から穂高が見えず残念。

２日目　０２月１７日（月）曇り時々晴れ
起床５：００－朝食７：００－釜トンネル発８：１５－大正池９：１２－田代橋－河童橋１０：４０～１１：１５（昼食）－釜トンネル１３：２９－中の湯（温泉）－長泉１９：１５

翌日、雨は止んでいた。食堂から青空が見えた。雨でなければ良い。宿のバスで釜トンネルまで送って貰う。「おいらく山の会」の人たち９名も一緒だった。バスに食堂の出前箱があったので運転手に聞いたら、「釜トンでゲート番をしている方の朝食」といった。
釜トンネルは、全長１３１０ｍある。傾斜が強く、上りは息が切れる。電灯が点いていないので真っ暗。ヘッドランプがないと歩けない。でも、今は歩きやすい。昔は湧水があり、冬は凍って怖かった。
そもそも、１９８４年当時は、上高地に入るに沢渡から歩いた。釜トンまで約７ｋｍ。標高差は３００ｍ強。そこを冬山の重荷３０ｋｇで上り、１日目のテント泊は横尾だった。
それに比べれば、今は楽だ。そんなことを思い出しながら上って行く。釜トンネルを抜けると、上高地トンネルがある。以前はなかった。こちらは５９０ｍ。短いので明るいのに、何故か灯りが点いている。むしろ釜トンネルに明かりが欲しいのに。おかしい。トンネルを抜けた所でアイゼンを装着。「おいらく山の会」の方と会話。県連のネームプレートで静岡と分かったらしい。

釜トンネル内

上高地トンネル

*先の林道はガジガジの氷道。降雪が少ないので、氷が発達している。氷道をガシガシ行く。程なく私の*左アイゼンの止め金が外れてアイゼンがブラブラになった。止め金は探してもなかったので、しばらく片足で上った。その後、K が片足を貸してくれた。
大正池に到着。穂高はガスで見えない。写真を撮る。林道を降りて、池沿いの散策路を進む。トレースがあって歩き易い。

大正池　　散策路

梓川から前穂高岳

梓川の堤防を歩く。途中、田代橋がある。冬季用トイレがあった。有難い。橋から対岸も行けるが、そのまま前進。梓川に向こうの穂高連峰が見え隠れ。前穂は見えたが、奥穂はなかなか出ない。少し晴れている間、写真撮影。梓川の河原に降りるのにラッセルが深く難儀。

堤防をなおも進む。時々、落とし穴がありズボズボ落ちる。やっぱり暖冬だ。
河童橋が見えた。釜トンから２時間半ほど。人影は平日・コロナでまばら。橋を渡り土産店の軒下で昼食。マイナス１０度くらいで、手がかじかんだ。あまりゆっくりは出来ない。

河童橋

昼食が終わるころ、「おいらく山の会」が到着した。随分、ゆっくりだった。
帰路は、概ね往路を戻った。何故か足早。早く中の湯で温泉に浸かりたい心理か。途中、林道を下っていたら、ご夫婦に抜かれた。ただ、女性は右腕を吊っていた。仲間に聞いたら、「怪我のようだ」とのこと。追いついて聞けば、転倒して骨折という。骨折って、どうして分かりましたかの問いに、「腕がブラブラ」といった。

時々、落とし穴

帰路

応急手当がしっかりしていないので、日赤の講習を受けているＫが中心になって再手当。Ｔさんが、三角巾を提供してくれた。事故者は、双方ともアイゼンを履いていなかった。平湯から来たという。アイゼンは？の問いに、「持って来るのを忘れた」という。
しかし、この半端でない氷道をアイゼンなしは考えられない。上高地トンネルで止めるべきだった。自業自得。この程度の怪我で良かったが、大きな事故だと皆に迷惑が掛かる。初心者は、そのあたりが甘い。

焼岳が見えた

大正池で焼岳が見えた。青空が美しい。上高地トンネルでアイゼンを脱ぎ、釜トンで中の湯に携帯。迎えを頼む。釜トンは真っ暗。傾斜が強いのでグングン下る。ゲートで借りたストック１本返却。
中の湯で降雪の中温泉。５００－。山を下れば里は、春爛漫だった。いい山旅だった。皆に感謝。

（了）

釜トン出口

| 裾野麗峰山の会・山行報告書 | 文・ＧＭ　　写真・ＧＴ |
|---|---|
| 山行番 | ＮＯ．１８５６ |
| 日　時 | ２０２０/２/２３（日）晴・上部強風 |
| 山　域 | 富士山・御殿庭（２１７０ｍ） |
| コース | 駐車場７：４０－幕岩８：５０－御殿庭１１：００－御殿庭下（昼食）１１：２０～１２：００－幕岩１３：００－駐車場１３：４７ |
| 標高差 | 上り　駐車場約１３４０ｍ～御殿庭約２１７０ｍ＝約８３０ｍ<br>下り　同上 |
| 快適度 | ４（５段階評価）＝天気は良かったが、幕岩上はアイスバーンで歩き難かった |
| 参加者 | ＧＴ、ＫＨ、ＨＹ、ＭＭ、ＧＭ、＝５名 |

今回の山行は 22 日に茅ヶ岳の予定であったが、雨で中止となり、翌日の 23 日は富士山となった。2 月 23 日は富士山の日ということで、富士山に変更になった。
ＧＴ車は 6 時半に長泉を出発、6 時 50 分に裾野でＧＭ車と合流。御殿場の S さん宅まで行き、そこの駐車場にＧＭ車を置いて、ＧＴ車で 7 時半過ぎに須山御胎内登山口東の周遊道橋の駐車場に到着。
帰りにＧＴさんは S さん宅で、飲み会があるので、私の車で帰りはＨＹ＆ＭＭさんを長泉まで送っていく計画。（後で判ったが、2 月 22 日はＧＴさんの誕生日であった）

7 時 40 分に周遊道の橋から出発。一般道ではないが、ここから宝永山方面への登山はよく使うルートであり、昨年 10 月にもここから第一火口まで登った。

周遊道の橋からの登り口

登り口からすぐに溶岩の沢に入る。幕岩からバリの宝永山南沢（仮称）に向かう。しばらく登ると滑り易いアイスバーンの氷道が現れ始めた。ツルツル、スベスベしながら 30 分程登ったが、ＧＴさんの指示でアイゼンを装着。アイゼンを付けるとザクザクという音がして、力強く歩けるようになったが、私はアイゼンに慣れておらず、長くアイゼンで歩くと足がかなり疲れそうである。
しばらく登って、御殿庭入口に続く尾根に取りつく。この辺りは、雪が多くいい感じ。青空・雪・岳樺・富士山が眩しい。

宝永山南沢（仮称）

御殿庭入口からさらに急登を登り、本日の最高標高点の御殿庭上（2170m）に到着。ここで、ＫＨさんからのサプライズ。そうか昨日（2 月 22 日）がＧＴさんの誕生日だったのか、私は全く忘れていた。ＫＨさんからの誕生日祝い垂れ幕とプレゼント（富士山を模したお菓子）を持って、記念撮影。

ＧＴさんはプレゼント（富士山を模したお菓子）が女性のオッパイにしか見えないようであった。ＧＴさんもこんな所で、お祝いをしてもらえるなんて幸せ者である。それにしてもＫＨさんの気遣いにはただただ頭が下がる思いである。

ＧＴさんの誕生日祝い

御殿庭

記念撮影した場所は風が強いため、そこから１０分ほど下った風の当たらない場所で昼食。
風が当たらないとはいえ、標高 2000mの雪の上ではかなり寒く、ビールが冷たい。ここでもＫＨさんの気遣いか、焼きチーズと焼き餅の海苔巻きを頂いたが、温かくてすごく美味しかった。

昼食後、幕岩まで一気に下たったが、雪の上を下るのはずいぶん楽であった。
それにしても、昨年１０月にもほぼ同じコースを登り下りしているのだが、秋と冬では全く景色も違うし、全く別の山に行ったように感じた。裾野に４０年近く住んでいて、富士山の四季の変化を眺めて

御殿庭下で昼食

いたが、今回、冬に登ってみて富士山の四季の変化を体感できて、非常に面白かった。ぜひ、春にも同じコースを登山して、四季の変化を体感したいものである。

明るい林間でポーズ

快適な下り

| 裾野麗峰山の会・山行報告書 | 文・写真　ＧＴ |
|---|---|
| 山行番 | ＮＯ．１８５８ |
| 日　時 | ２０２０/０３/０７（土）晴・風あり |
| 山　域 | 山梨・茅ヶ岳（１７０４ｍ）～金ヶ岳（１７６４ｍ） |
| コース | 長泉町６：３０－韮崎 IC－PICA 八ヶ岳明野キャンプ場９：２０－林道－千本桜登山道・１４０４ｍ峰西尾根－茅ヶ岳１１：４９－石門１２：０８－昼食－金ヶ岳１３：２７－キャンプ場１４：５４－みたまの湯－十里木－長泉１９：３０ |
| 標高差 | 上り　明野キャンプ場約１０００ｍ～茅ヶ岳１７０４ｍ＝約７０４ｍ<br>最低コル約１６００ｍ～金ヶ岳１７６４ｍ＝約１６４ｍ　　合計＝８６４ｍ<br>下り　金ヶ岳１７６４ｍ～キャンプ場約１０００ｍ＝約７６４ｍ |
| 快適度 | ５（５段階評価）＝藪はない |
| 参加者 | ＧＴ、ＫＨ、ＨＴ、ＩＫ、ＧＭ、＝５名 |

久しぶりに茅ヶ岳に向かう。茅ヶ岳は「深田久弥・急逝の山」として有名。
深田急逝の地は女岩コース上部。今回は、明野から千本桜登山道を上るので、そちらは行かない。
千本桜コースは歩いたことがないので楽しみ。かつ、下部はバリエーションを狙った。

明野キャンプ場

女子班

バリエーション・１

韮崎 IC で降りて下道を進む。拙車はナビがない。地図と睨めっこ。R２３から明野町・東大宇宙線研究所を目指す。地図では、浄居寺のすぐ北を右折。ところが行けども行けども、それらしき看板がない。でも、I は見たという。
戻ったが分からない。地元のオチャンに聞いてやっと分かった。帰路、確認したら、I が見た左手の看板がやっぱりそれだった。私は助手席で地図を見ていて気が付かなかった。このトラブルで３０分損失。長泉発が６：３０でいつもと３０分遅い。合計この１時間が後で大きな試練だった。
明野キャンプ場から林道を出発。右折して千本桜コースに向かう。バリは林道末端から上る。更に末端前からショートカットでも上れる。ただ、急峻な山腹を上るので男子３名は敬遠。女子２名のみ向かった。相変わらず、元気イイ。
末端か問題はなかった。乾ききった尾根は奇麗だった。南面故雪はない。落ち葉がガサガサ。茅ヶ岳は落ち葉が有名。尾根は物凄い上り。訓練でフル装備なので荷物が重い。汗が噴き出る。塩分が濃厚な汗だった。ようやく標高１３５０ｍのピーク着。ここから穏やかな上り。ホッと一息。

伐採地

Ｐ１３５０ｍ

Ｐ１３５０ｍから右折して、千本桜コースに向かう。尾根手前は岩場だったので右手に巻いた。尾根に出たが女子班がいない。携帯で待つように指示。別々に上っては意味がない。尾根はイイ感じが続いた。冬枯れの尾根は快適。登山者は皆無。
急登を喘ぐと防火帯コースに合流。ここまで来れば頂上は近い。上部は氷が溶けたようで、地面が濡れていた。しかし、時間は既に１２時近い。全員、空腹で空腹で参った。長泉発の３０分とアプローチ

石門

トラブル３０分が大きかった。あと１時間あれば余裕だったのに。最悪の空腹だったが、先は長いので茅ヶ岳は写真撮影のみで金ヶ岳に向かう。
頂上の人は疎らだった。土曜なのにコロナの影響か。北面は雪・氷が少しあった。慎重に下る。最低コルから少し上ると「石門」があった。記念撮影。金ヶ岳はとても無理なので、「石門」上で風を避けながら昼食。こんな空腹は近年珍しい。ガツガツ飲み食いでお腹がおかしくなってしまった。昼食中に男子が２名下りて来た。

昼食

昼食後、金ヶ岳まで実に苦しい上りだった。やはり、昼食は「その後、上りがない場所」で摂るべきだ。１時間の遅れが災いだった。

金ヶ岳（後ろのピークは、茅ヶ岳）

金ヶ岳と茅ヶ岳

岩場

金ヶ岳は静かで明るい頂上。ここに来る登山者は少ない。後ろに茅ヶ岳ピークが尖っていた。折角だから、茅ヶ岳の名称を「銀ヶ岳」にしたらイイの意見。成程、それなら「金さん・銀さん」山になる。ただ、茅ヶ岳は、昔、茅を刈り取った歴史があるんだろうね。

そんな馬鹿をいいながら下山。明野コースの上部は、岩場が多い。ロープも所々にあった。それでも標高１４００ｍあたりから穏やかな尾根となった。左手に朝上ったバリ・コースと大明神尾根が伸びていた。

明るい尾根

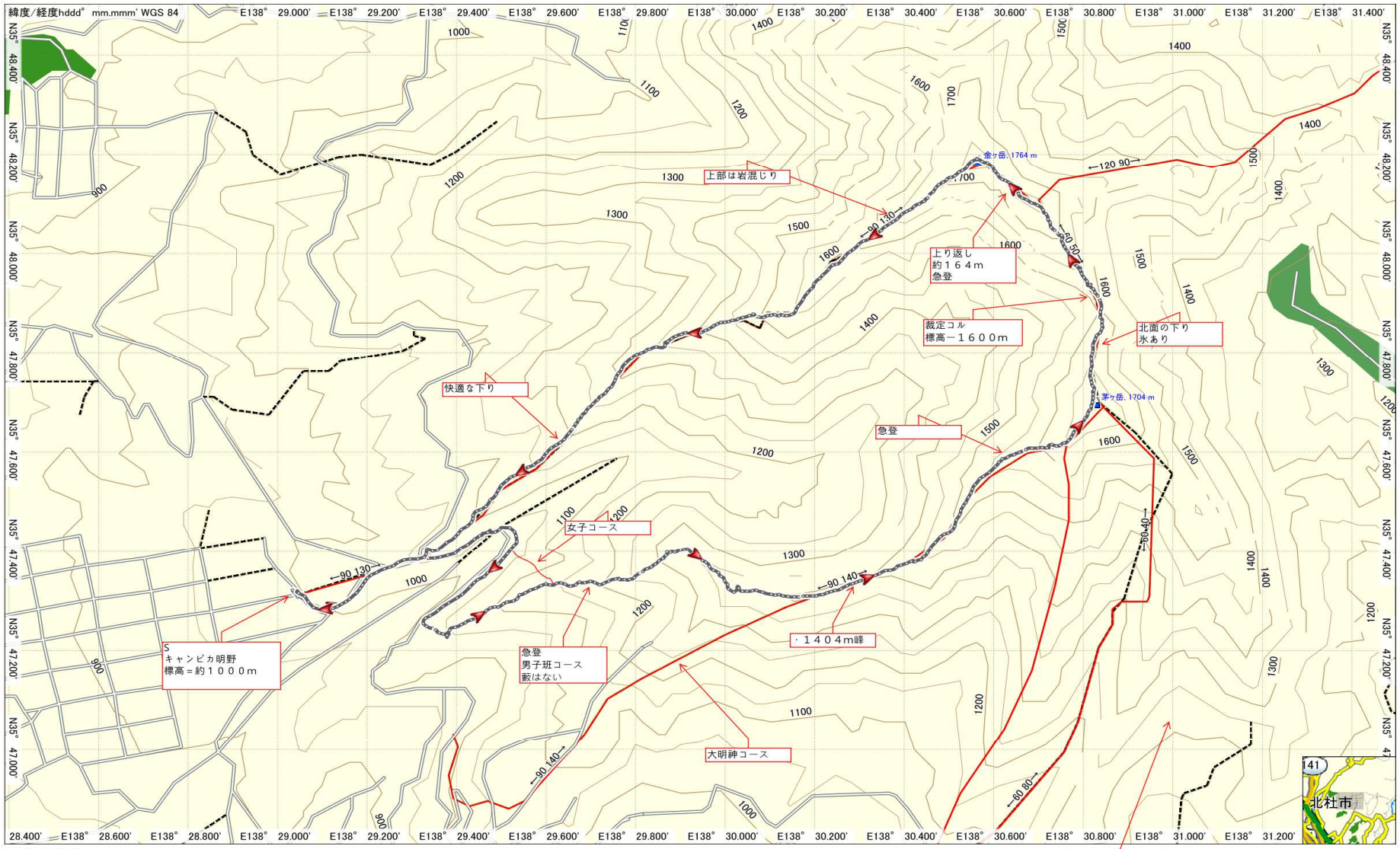
明野登山口

明野キャンプ場

当初、この日は悪天候予報だった。しかし、風はややあったが終日、好天気。登山は、やっぱり好天気がよろしい。悪天候は危険でもある。キャンプ場は、「冬キャンパー」が沢山いた。

聞けば、キャンプ代金は可なり高い。時代は変わった。今回もイイ山だった。完全燃焼でした。

（了）




Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2020/03/08 9:27:07

0 m 150 m 300 m 450 m 600 m

GARMIN

MN TN
-7.1°
2018/01/01

# 写真報告

まったりハイキング　３月３日（火）　焼津・静岡＝満観峰（４７０ｍ）　１０名

展望

全員集合

豪華昼食

特製「たい焼き」

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
第２６期・１巻　　２０２０・４月号　　NO.２２４

連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩１５４１－１２　徳山荘
０９０－８９５６～９９９０　　０５５－９８６～６０７５

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/

mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp
takanori.reihou8888@gmail.com